

4 教育研究組織

進捗状況報告

2006年度に理工学研究科に情報科学専攻の博士課程前期課程および後期課程が開設され、学部と研究科の一貫した教育研究を行う体制が整った。「神戸三田キャンパス整備推進委員会」の答申を受けて、「2009年4月に定員75名（純増）の工学部的要素の強い新設学科を設置する、ならびに定員25名（純増）以上を含む学部の再編を行う」ことを検討する「理工学部新設学科設置及び学部再編構想検討委員会」が設置された。検討の結果、2009年度に人間システム工学科、数理科学科の2学科新設、また生命科学科に生命科学専攻と生命医化学専攻の2専攻を設置して入学定員を現在の360名から460名に増員する計画が成案となり、進行している。

CREST、NEDOなどの大型プロジェクトや、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業に採択された研究プロジェクト、受託研究などを実施する特定プロジェクトでは、外部から博士研究員や受託研究員を積極的に受け入れて、研究の活性化を図っている。

生命科学科では、2005年度より3年終了時点で大学院受験資格を与える「飛び入学」制度を実施してきたが、2006年度入学生から物理学科数学専攻で優秀な学生に3年次に特別に設定した科目の履修を許すことにより3年卒業が可能となる制度を導入した。

学部・研究科間の相互乗り入れとしては、一部の科目で大学院の授業を学部と合併開講して学部生が受講できるようにしたが、試行錯誤の段階であり、まだ組織的な検討はなされていない。

実験・演習科目を充実していくためには、より多くの優秀な教学補佐の確保が不可欠であるが、その方策については引き続き検討中である。

学内第三者評価

本学唯一の自然科学系の学部として、特に工学的要素の充実の必要性が指摘されているなかで、その方向に向けて新たな学科増設へ不断の努力がなされている点は評価できる。

また、特定プロジェクトでの研究者の受け入れや早期卒業制度、学部・大学院の連携などについて着実に歩を進めている。